

98年度地学授業アンケート

湘南台高校・山本明利

本校では、98年度から2年の選択科目に地学IBを新設しました。1年間の授業を終えて、初年度受講者にアンケート調査を実施しました。その結果をご報告します。

●地学IBを選択して・・・

とてもよかった 31
まあまあ無難 21
後悔している 0

●中学理科の関連単元と比べてどうでしたか。

面白い 30
まあまあ 22
つまらない 0

●地学IBの授業を受ける前後でのあなたの地学への関心度の変化を表すところへ一箇所だけ丸を記入してください。

		1年前までは・・・だった		
		関心あり	普通	関心なし
現在 は ・ ・ だ	関心あり	11	17	3
	普通	6	9	6
	関心なし	0	1	1

●面白いと思っただ単元は？（複数可）

宇宙分野 38
地球物理分野 10
気象分野 12
なし 2

●つまらなかった単元は？（複数可）

宇宙分野 4
地球物理分野 17
気象分野 20
なし 17

●面白かった実験・実習は？（複数可）ベスト5

1位 中津層化石のクリーニング
2位 水銀などを使った真空実験
3位 地球博物館見学
4位 しし座流星群の観測
5位 カーナビで地球の大きさを測る

●あなたの地球観、宇宙観は変化しましたか？

広がった	4 4
特に変わらない	9

●宇宙や地球と自分との関わりについて理解が進みましたか。

とても進んだ	9
少し進んだ	4 0
全然変わらない	2

●コンピュータ室を多用したことについて。

とてもよい	4 7
まあよい	4
移動が面倒	2

●地学Ⅱも勉強してみたかったですか？

はい	2 2
わからない	2 2
いいえ	9

【総括】

生徒はおしなべて好意的に受け止めてくれたようで、新設した甲斐があったと思います。消去法で地学を選択した生徒も多い中で、多少でも関心を高めることができたのではないかと自画自賛しています。

授業計画は、宇宙観・地球観の形成と、その中での自分の位置付けを目標としましたが、後者については今一步の感があります。

単元別では宇宙分野が圧倒的人気を誇っています。したがって、多くの教科書の構成が、天文を最後に位置付けているのは生徒の関心に配慮していないと言わざるを得ません。ちなみに、私の授業は教科書の配列を無視して、宇宙の広がりから導入して、銀河系、太陽系を経て地球へと進む「ズームイン方式」をとっています。おおまかには、1学期に天文、2学期に地球科学、3学期に気象という区分をしました。

イメージ作りのためにVTRを多用したほか、乏しい教材をかきあつめて実験・実習をできるかぎり取り入れました。これも好評だったようです。実験・実習のなかでは予想通り中津層化石のクリーニングが人気ナンバーワンでしたが、大気の単元で行なった真空実験がこれとほぼ同数の関心を引いていたのは意外でした。夏休みの課題で県立生命の星・地球博物館の見学を課しましたが、生徒は「遠い、交通費が高い」とぼやきながらも、大変喜んでくれました。

化石クリーニング実習では、250万年前のアシカの歯の化石発見というヒットもありました。先日、発見者の生徒と、そのサンプルを地球博物館に納めてきました。この時代の海棲哺乳類の化石はずいぶん珍しいのだそうです。さて、今年は何が見つかるでしょうか。